

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと、美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清濁で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびのびなまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

奈良市民だより

No. 476

市民のうごき

11月1日現在（前月比増）

人口 305,388人（1070）

男 148,195（546）

女 157,193（524）

世帯数 97,608（310）



百三十五氏たたえる

市の表彰式で市政へ貢献・善行の人

奈良市政発展に尽くされた方々の功績や、私財を公益のために寄付され、また地域社会のために尽くされた方々の

善行を広く顕彰し、たたえる今年度の奈良市表彰式は「文化の日」の十一月三日午前九時から市役所正庁で盛大かつ厳粛に挙行されました。

菊の香につつまれた式場に

は被表彰者をはじめ木山市長、橋本市議会副議長ら市関係者や市民代表約五百人が着席。木山市長の式辞のあと表彰にうつり、華やかな音楽に流れるなか、木山市長が一人ひとりに表彰状を読みあげて手渡し、記念品を贈ってその功績をたたえました。

ことし表彰を受けたのは社会のため市政のために尽くした有功者十七人、教育・学芸・文化・産業の発展や地域社会、住民福祉に尽くした功労者百五人、多額の私財を公益のために寄付、また身の危険をかえりみないで人命を救助するなど、市民の模範となつてゐる善行者十三人の計百三十五人。市議会議長祝辞のあとママさんコーラスの人たち五十人が受賞者をたたえるうた「顕讃（しょうさん）」と「奈良のうた」を合唱して喜びに花を添えました。

ゴミの減量にご協力を

焼却炉煙突に故障

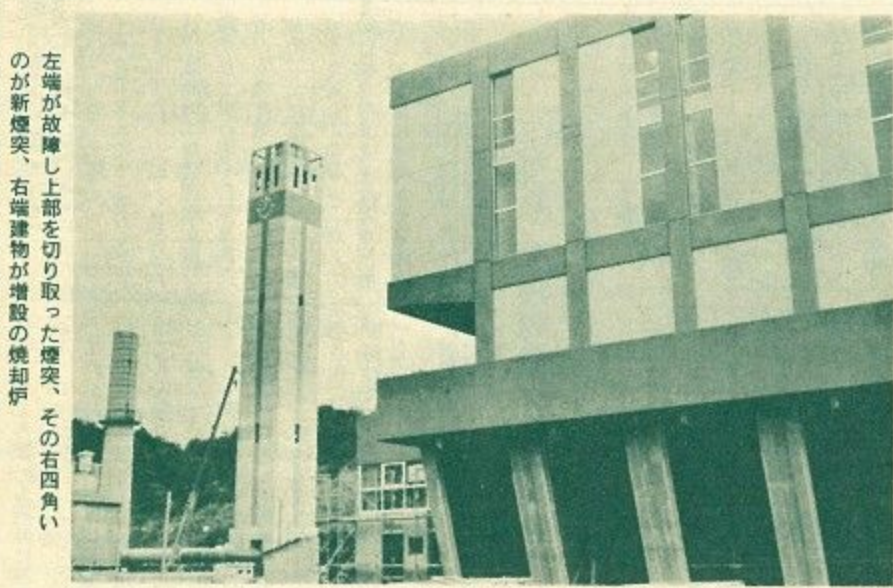
清掃工場 応急対策急ぐ

奈良市のゴミ焼却を一手に引き受けている市の清掃工場の煙突（高さ五十一メートル）が、去る十月三十一日から二十二日にかけて日本列島をかすめて行った台風二十四号の風雨により、地上から三分の二くらいの高さに大きなヒビが入り傾きました。調査の結果、このままでは煙突はやがて倒壊し、清掃工場本体にも大きな被害を与えかねないことがわかったため、傾いている上部三分の一を大型クレーンでとり除き、十一月三日までにかつて応急修理をしました。

これは別に、市では昨年十二月から、来春の操業開始を目ざして新しい煙突と、一日百二十トンの焼却能力をもつ新しい焼却炉の増設工事をしておき、この煙突はすでに出来あがっています。そこでこの緊急事態に対応するため、現在操業中の三基の焼却炉を新しい煙突につなぎかえることにしました。

この作業は焼却炉を一基ずつ順番に煙突に接続して行きますが、三基を接続し終わる

左端が故障し上部を切り取った煙突、その右四角いのが新煙突、右端建物が増設の焼却炉



ゴミ減量の道

分別出しと資源化強化

市では昭和五十二年十月から「燃やせるゴミ」「燃やせないゴミ」「大型ゴミ」「有害ゴミ」の四種類に分けてゴミを収集しています。以来四年、市民の皆さんの協力で分別の成果はあがり、ゴミ減量の率は年々上昇しています。清掃工場に集められてくるゴミの組成分析をみると、燃やせるゴミは89・7％で「燃やせないゴミ」は10・3％でしたが、分別収集開始後は「燃やせるゴミ」の中に混入している「燃やせないゴミ」の量は大幅に減りました。しかしまだ一・三％は「燃やせないゴミ」が混入しています。食品包装用のプラスチック、発

「声」を募集

市政に対して平素お考えのこと、ご意見や要望をお寄せください。四百字までにおねがいします。

奈良市二条大路南一丁目
奈良市役所広報公聴課
「声」係あて

ほうスチロール、ラップなどが最も多く、ついで空き缶、陶器のかけらなど食料品にもなるゴミが大半です。

一方「燃やせないゴミ」の中に「燃やせるゴミ」が入っている割合も年々減ってきています。今年七月の組成分析調査ではなお五・六％の混入率が見られます。ここでは包装紙や牛乳のパックなど、やはり食生活から出るものが目立ち、台所をあくまでも主婦の方々のより一層の協力をお願いいたします。

また市全体で出るゴミの量をみてみると、総排出量の伸びは人口増加率を上回り、昭和五十二年の市民一人当たりの年間ゴミ排出量は約三百・五ポンドであったのに対し、同五十五年には約三百五十五ポンドにもなっています。

ゴミの分別出しは一定の成果をあげるところまででしたが、ゴミの減量化、さらには資源化については、市民皆さんの積極的な協力をお願いします。

ゴミは人間が生活する以上必ず出てくるもので、ゼロにすることはできません。しかしこれを減らすことは工夫次第でできると思います。ゴミの燃焼効率を上げ、さらに円滑な処理体制を一日も早く確立するため、市民のみなさんの分別出し励行と、資源回収ルートにのせる資源化による減量化にご協力をお願いします。

金婚夫婦一五三組

お祝いに顔紅潮させて

結婚してから丸五十年。昭和の激動期を手をとりあって耐え抜き、めでたく金婚の喜ばし、狭川明俊東大寺長老らが書いた色紙など記念品を手渡してまわりました。

びを迎えた夫婦をお祝いする市の金婚祝賀会が、こしも「文化の日」の十一月三日午後一時から市役所正庁で開かれました。招かれたのは昭和六年、満州事変勃発という歴史転換の年に結婚した夫婦で、この日出席したのは百五三組。

つづいて木山市長、岡田議長、佐伯名誉市民のお祝いのことはあつてから、会場中央に大きなウェディングケーキが引き出され、参加夫婦のうち、この日が結婚記念日にあたる若葉台一丁目の栗本憲吉さん（80歳）・田鶴子さん（75歳）夫妻が大きな拍手の

会場正面には木山市長はじ
め市三役・岡田市議会議長・
橋本同副議長各夫妻と名譽市
民の佐伯勇氏夫妻がならび、
その前に人生の年輪を刻んだ
顔に喜びを湛えた老夫婦がず
かりと並ぶ。

式は金春流の祝儀能「鞍馬大駒」ではじまり、木山市長は充子夫人とともに会場をめぐる、金婚夫婦の一組一組に「金婚おめでとう」「これからもう元気で」と声をかけ、ねぎらいながら祝意をつぎ、西田・高瀬両助役夫妻が夫婦

=12 月=

本庁相談室＝平日午前9時～午後4時。土曜日は正午まで。
西部公民館＝毎週火曜日午後1時～4時。(電話03978番)

本庁相談室＝毎週月曜日午後1時～3時は弁護士の直接相談。平日は午前9時～午後4時に「相談カード」を渡します。

本庁相談室—毎週水曜日午前9時～午後4時
担当相談員（敬称略）
2日 岩野政一 9日 近東弘七
16日 羽瀧幹夫 23日 竹 博英

本庁相談室 毎週金曜日午前9時～午後4時。
担当相談員 (敬称略)

4日	{東雲 茂男 荒木 武男 小川クニ子	11日	{植松 宗平 松田 一雄 細田 宏
18日	{米浪勝之助 赤堀 綾子 堀石武一郎	25日	{狭川 明俊 石原 フジ

厚生・国民年金の相談。
西部公民館＝毎月第3月曜日午前10時～午後3時。
国民年金課＝毎月第1月曜日午前10時～午後3時。

本庁相談室＝毎週金曜日以外の平日
午前9時～午後4時、土曜日は正午
まで。

本庁相談室・西部公民館＝毎週火・木曜日午前10時～午後4時。

本庁相談室＝毎週金曜日午前9時～午後4時。
福祉第二課＝平日午前9時～午後5時。土曜日は正午まで。

福祉第一課＝毎月第1金曜日午前9時～午後4時。遺族年金などあらゆる相談。

本庁高年齢者職業相談室＝平日午前
9時～午後4時、土曜日は正午まで。
対象は55～65歳前後の人。

電話☎1211番代
・問い合わせ・要望・苦情
・戸籍謄抄本・付票の写し、住民票
の写しの交付予約など。
電話でどうぞ。

各隣保館で盛大に

から、昔話に花を咲かせてい
ました。

「文化の日」を中心に市内の各隣保館では「解放」への意欲を高める文化祭がそれぞれ趣向をこらして開かれました。各館とも来年三月に期限切れになる「同和対策事業特別措置法」の強化・改正への強力な取り組みが見られました。

で九回目。部落解放にとりくむいろいろな展示物が並べられました。が、地元のお年寄りからの話をもとに作成された「大正十年ごろの古市」の模様がひととき注目されました。また、この一年間の活動の記録映画が上映され人気を呼びました。

古市隣保館 「差別を見抜く学習を」をテーマに十一月一日〜三日に開かれました。同館の文化祭は昭和四十八年から毎年開かれており、今年

杏中隣保館 十一月三、四両日に「部落解放運動に学び、差別に打ち勝つ力を養おう」を中心テーマに開かれました。館内には昔の部落の人

—開所式挙げる—

市民だより
り十一月一日
日分でお知
らせしたよ
うに復元・
整備成った
旧柳生藩家
老屋敷が十
一月一日の
一般公開に
先立って十
二関係者ら約六

介護レースにがんばるお母さんたち

市心身障害者運動会が十一月一日飛鳥小学校で開かれ、市内の心身障害者や家族ら約五百人が参加しました。

運動会へ500人
— 障害越えて —
— たくましく —

と、豊川弘子さん（17歳＝県立奈良養護学校高等部三年）が力強く選手宣誓をして競技開始。参加者全員が紅白に分かれての玉入れが始まり、肢体・視力など障害別の競走や車イス競走、バンク競走など十四種目と盛りだくさんの競技を心たくましく展開。日ごろからだを動かすことの少ない障害者が、秋晴れの好天のもと、この日はかりはと国際障害者年にふさわしく、それぞれハンディを克服して楽しくがんばりました。

捨て犬 捨て猫は
やめましょう

十人が参加して開所式が行われました。

式には木山市長ら市関係者、屋敷や門屋の寄贈者として東京都世田谷区在住の故山岡莊八氏の遺族の藤野賢二・

豪州大使が市長を表敬訪問

オーストラリアのジェームス・プリムソル駐日大使が十月三十日、市役所に木山市長を表敬訪問、都市づくりなど

豪州大使が市長を表敬訪問

小浜・慶州三市の第八回姉妹都市親善野球大会のため来日していたもので、試合を終わって奈良市を訪れたもの。

一行は木山市長らと歓談、両市の友好を確かめ合いました。

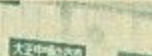
地婦連体育大会
600人が参加

で開かれました。婦人の体力づくりと会員の親和をはかるためのもので、市内二十地区から約六百人が参加しました。木山市長、橋本市議会副議長らの励ましの言葉を受けたあと、大安寺地区の山上文子さんが選手宣誓。全員でみっちり準備体操して体をほぐしてから玉入れや障害物競走など十種目の競技に興じ心地よい汗を流しました。

大きな反響をよびました。

東之阪隣保館

「差別に立ち向かう自らの力量を高めよう」をテーマに七日から三日間開催しました。初日には大会議室でテーマを演題に県同和教育推進協議会の連想瑞起さんの講演を聞き、映画「母を生



十人が参加して開所式が行われました。

式には木山市長ら市関係者、屋敷や門屋の寄贈者として東京都世田谷区在住の故岡田八氏の遺族の藤野賢二・

豪州大使が市長を表敬訪問

小浜・慶州三市の第八回姉妹都市親善野球大会のため来日していたもので、試合を終わって奈良市を訪れたもの。

一行は木山市長らと歓談、両市の友好を確かめ合いました。

権子さん夫妻（莊八氏の子息夫妻）、佃正次さん（柳生町）らが参列、正面門屋前で木山市長と藤野賢二さんらがテープにはさみを入れたあと、全員が屋敷内を見学、展示された資料に感嘆の声をあげていました。

同大使は翌日、日本とオーストラリアの友好を深める奈良日豪協会設立総会に出席、日豪の友好を深めました。

**慶州市の野球選
手団が表敬訪問**

奈良市の姉妹都市韓国・慶州市野球選手団（朴相根団長（副市長）の一行二十七人が十月二十六日、市役所に木山市長を表敬訪問しました。同選手団は去る二十五日福

菊花大会
の入賞者

た。

菊花大会 去る十月二十日

の入賞者 から市役

所玄關前広場で開かれてゐる
第十一回「早城宮跡菊花大会」の
審査が十一月九日行われ、
出展者が心こめてつくつた見
事な作品五百三十八鉢のなか
から市関係では次の方々が入
賞しました。(敬称略)

【大菊三本立て花壇】奥田則
子▽荒井正一▽吉岡正男▽西
田芳一▽佐々木定人▽前田広
久▽村田善作

【盆栽】竹田武雄▽阪原義雄

